

# 感染症発生動向調査速報（週報）

2020年第14週

2020年3月30日（月）～2020年4月5日（日）

2020年4月9日作成

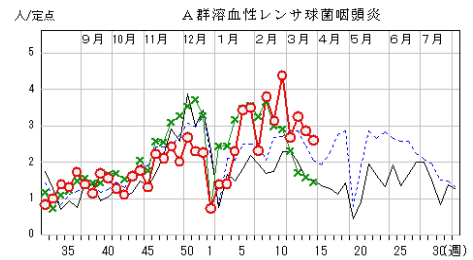
## ☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

### （1）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第14週の報告数は115人で、前週より11人少なく、定点当たりの報告数は2.61であった。

年齢別では、4歳（19人）、3歳（18人）、5歳（17人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県央保健所（9.83）、県北保健所（5.33）であった。

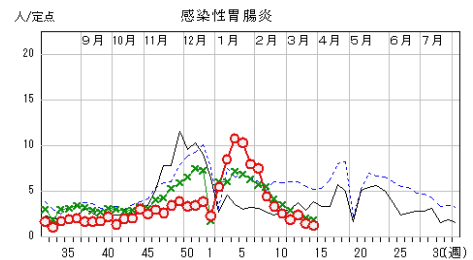


### （2）感染性胃腸炎

第14週の報告数は55人で、前週より8人少なく、定点当たりの報告数は1.25であった。

年齢別では、2歳（10人）、10～14歳（8人）、1歳（6人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（3.33）、県央保健所（1.83）、長崎市保健所（1.50）、上五島保健所（1.50）であった。

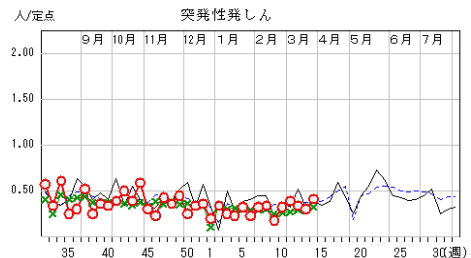


### （3）突発性発しん

第14週の報告数は18人で、前週より5人多く、定点当たりの報告数は0.41であった。

年齢別では、1歳（13人）、1歳未満（5人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（1.00）、長崎市保健所（0.60）、県南保健所（0.60）であった。



○ 2020年(長崎県)      ー 2019年(長崎県)  
 × 2020年(全国)      - - 2019年(全国)

## ☆上位3疾患の概要

### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第14週の報告数は、前週より11人減少して115人となり、定点当たりの報告数は2.61でした。地区別にみると、県央地区（9.83）は、前週より増加し、警報レベル開始基準値「8.0」を上回っています。県全体で減少傾向にありますが、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いやうがいを励行し、感染防止に努めましょう。

**【感染性胃腸炎】**

第14週の報告数は、前週より8人減少して55人となり、定点当たりの報告数は1.25でした。地区別にみると、壱岐地区、対馬地区、五島地区以外から報告があがっていますが、多くの地区で前週より減少しています。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。原因微生物のうち、ロタウイルスについてはすでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。特に乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

**【突発性発疹】**

第14週の報告数は、前週より5人増加して18人となり、定点当たりの報告数は0.41でした。

本疾患は、乳児期に発症するのを特徴とする熱性発疹性疾患で、原因の多くはヒトヘルペスウイルス6および7です。38度以上の発熱が3日間ほど続いた後、解熱とともに鮮紅色の斑丘疹が体幹を中心に顔面、四肢に数日間出現します。随伴症状として、下痢、眼瞼浮腫、大泉門膨隆、リンパ節腫脹などがあげられますが、多くは発熱と発疹のみで経過します。ほとんどが2歳未満に罹患し、予後良好のため、対症療法にて経過観察するのみで、特に予防が問題となることもない疾患です。

**★トピックス：県内でこれまでに13例の新型コロナウイルスの感染者が確認されています**

2020年4月8日までに、長崎県では13例の新型コロナウイルスの感染者が確認されています。

新型コロナウイルス感染症については、インフルエンザ等の感染症と同様に、感染予防には外出後の手洗い、定期的な換気、「咳エチケット」の徹底が有効です。普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけて免疫力を高め、積極的な感染予防を心がけましょう。また、換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面など感染しやすい環境（3密）に行くことを避けましょう。

**～ 咳エチケット ～**

- ・人に向けて咳やくしゃみをしない
- ・マスクの着用（咳をしている人には着用を促す）
- ・マスクのない場合は、口と鼻をティッシュなどで押さえる
- ・使用したティッシュは、すぐにゴミ箱へ捨てる
- ・咳やくしゃみを受け止めた手は、すぐに洗う

(参考) 長崎県 新型コロナウイルス感染症について

[https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona\\_nagasaki/](https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona_nagasaki/)

(参考) 厚生労働省 新型コロナウイルスを防ぐには

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599643.pdf>

(参考) 厚生労働省 3つの密を避けましょう

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614802.pdf>

(参考) 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について（外部のページに移動します。）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

## 長崎県における新型コロナウイルス感染症発生状況

	管轄保健所	年齢・性別	類型	診断週
1	壱岐保健所	30歳代・男性	無症状病原体保有者	第11週
2	西彼保健所	20歳代・男性	患者	第13週
3	佐世保市保健所	70歳代・男性	患者	第14週
4	県央保健所	60歳代・女性	患者	第14週
5	壱岐保健所	30歳代・女性	患者	第14週
6	県央保健所	50歳代・男性	患者	第14週
7	佐世保市保健所	20歳代・男性	患者	第14週
8	佐世保市保健所	40歳代・男性	患者	第14週
9	壱岐保健所	70歳代・女性	患者	第14週
10	壱岐保健所	90歳代・女性	患者	第14週
11	壱岐保健所	60歳代・女性	患者	第14週
12	壱岐保健所	70歳代・女性	患者	第14週
13	県北保健所	70歳代・女性	患者	第15週

